

科目名	ミクロ経済学Ⅱ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修 □選択	
英文表記	MicroeconomicsⅡ	開講年次	□1年■2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	もりもと あつし	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	森本 敦志	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	本授業は、市場支配力や独占・寡占、不完全競争の理論を基盤に、ゲーム理論や行動経済学を用いて実証経済学と政策評価に応用する実践的アプローチを学びます。				
到達目標	・ 経済理論の基本概念（市場支配力、独占、寡占、外部性など）を正確に理解し、実社会の経済現象を論理的に説明できる基礎力を養う。 ・ ゲーム理論や行動経済学の手法を応用し、企業や消費者の戦略的行動を分析する能力を高める。 ・ 理論と実証経済学、政策評価を連携させ、実践的な経済問題へのアプローチや政策提案ができる応用力を育成する。				
授業概要	本授業では、市場支配力や独占を軸とした不完全競争の理論、ゲーム理論による戦略的行動、生産要素市場、情報の非対称性、外部性と公共財などの主要テーマを体系的に学びます。さらに、行動経済学や実験経済学を通じて、現実の経済問題を多角的に分析する視点を養います。ミクロ経済学の応用力を高め、最終的には実世界のビジネスや公共政策にも活かせる視点を身につけることを目指します。社会問題に応用できる実践力を養成します。				
授業計画					
第1回	市場支配力と独占				
第2回	独占企業の価格決定と社会的影響				
第3回	市場支配力をもつ企業の価格戦略				
第4回	不完全競争と寡占市場				
第5回	ゲーム理論（基礎）				
第6回	ゲーム理論（応用）と戦略的行動				
第7回	生産要素市場と労働市場				
第8回	不確実性とリスクの理論				
第9回	時間選好と保険市場				
第10回	一般均衡理論と市場の相互依存				
第11回	情報の非対称性—逆選択とモラルハザード				
第12回	シグナリングとスクリーニング				
第13回	外部性と公共財の理論				
第14回	公共財供給と政策手法				
第15回	行動経済学と実験経済学				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	・ 前回の復習(1 時間程度)をしてから、次回の授業に備えてください。 ・ 授業前に教科書の該当箇所に必ず目を通してください。分からない用語は、聞き逃さないようにノートにまとめておいてください。(1 時間程度)				
履修条件 受講のルール	・ 教科書は必ず購入してください。 ・ 必要がある場合はポータルサイトから資料を配布します。				
テキスト	スティーヴン・レヴィット(2018)『レヴィット ミクロ経済学 発展編』東洋経済新報社				
参考文献・資料					

成績評価の方法	期末試験 60%、授業中に与える演習課題等 40%としますが総合的に判断します。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	金曜日 9:00～10:30
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	ミクロ経済学は、日常生活や社会で起きているさまざまな経済現象を理解するための基盤となる学問です。最初は抽象的に感じるかもしれませんが、学んだ理論を具体的な例と結びつけることで、その面白さと実用性が実感できるはずです。疑問を持つことを恐れず、積極的に質問や議論をしながら、一緒に学びを深めていきましょう！